

御 挨拶

東京都立大塚ろう学校長

木村 利男

本校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。
日頃より、本校の教育に御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。
私は、令和6年4月1日付、校長に着任いたしました木村利男（きむらとしお）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校は、幼稚部と小学部を設置する聴覚障害特別支援学校です。
今年で創立98年目を迎えます。目指す学校像は『聴覚に障害のある子供たちが、将来の社会参加・自立に向けた確かな力を身に付ける学校』と掲げています。
豊かなコミュニケーションを基盤に、4つの柱（日本語 学力 社会性 健康）をもって教育を行うとともに、地域における聴覚障害教育のセンター校としての役割を果たすことを目標としています。

大塚ろう学校の本校は、豊島区巢鴨にあります。また三つの分教室（それぞれキャンパスと呼んでいます。）が江東区、大田区、杉並区にあります。
所在地と幼児・児童数は以下のとおりです。（令和6年4月1日現在）

4キャンパス	所在地等	幼稚部	小学部	計
大塚ろう学校・本校	豊島区巢鴨 4-20-8	21名	89名	110名
同・城東分教室	江東区大島 6-7-3 (都立城東特別支援学校内)	9名	29名	38名
同・城南分教室	大田区東六郷 2-18-19 (都立城南特別支援学校内)	13名		13名
同・永福分教室	杉並区永福 1-7-28 (都立永福学園内)	7名	14名	21名
		計 50名	132名	182名

幼児・児童は、普段は在籍するキャンパスに通い、小学部の入学式、卒業式や運動会などの学校行事は本校に集まって、一緒に活動をします。小学部では、本校と分教室とをオンラインで結び、学年ごとの学習交流や行事の事前・事後指導等を行っています。

また、地域の保育園や小学校との交流及び共同学習も行っています。分教室では、施設母体校の特別支援学校との交流もあります。

このほか、地域の聴覚障害教育のセンター校として、乳幼児教育相談を行っております。乳幼児教育相談では、聴覚障害のあるお子さんの保護者や御家族の気持ちに寄り添いながら、子供たち一人一人がもっている個性や可能性を共に見付け、それらを伸ばすために、子育てや支援の方法を一緒に考えていきます。出産後行われる新生児聴覚スクリーニングでリファーマとなったお子さん、幼稚園や保育園に通う聴覚障害のあるお子さんの親御さんや、教職員の方々への相談も行っています。地域の保健師等への研修会も開催しています。

子供によって「聞こえにくさ」の状況は違います。性格も興味・関心も様々です。

一人一人の「今」と「未来」を考え、コミュニケーションの取り方や言葉の発達、そして心の成長を促す指導をしていきます。手話、指文字、補聴器・人工内耳や補聴援助システム等による聴覚活用、口話（発音・発語・読話）等、あらゆる手段を用い、豊かなコミュニケーションを通じて、思考力、判断力、表現力を育てます。

すべての子供たちがわかるコミュニケーション環境を整え、教育活動を行っています。大塚ろう学校は、子供がもつ力を大切にしながら、一人一人の可能性を引き出す教育に取り組んでいます。

よろしくお願ひいたします。

令和6年4月1日